

令和8年度

補正予算事業説明書

(9月補正予算)

みよし市

目 次

1 一般会計

(1) 施策の説明

総務費	5
民生費	7
衛生費	11
商工費	12
土木費	13
教育費	20
予備費	23

2 国民健康保険特別会計

施策の説明	26
-------------	----

3 介護保険特別会計

施策の説明	29
-------------	----

1 一般会計

令和8年度9月補正予算 事業別一覧

会計 01 一般会計

(単位：千円)

款	項	目	大	中	小	事業名	予算額	所属	ページ
02	01	06	73	04	81	財政調整基金等積立事務	1,061,000	財政課	5
02	04	70	81	01	46	みよし市議会議員選挙事務	3	総務課	6
02	04	70	81	01	46	みよし市議会議員選挙事務 【債務負担行為】	(限度額) 15,310	総務課	6
03	01	04	21	04	07	障がい者福祉センター事業	580	福祉課	7
03	01	06	21	03	08	介護保険特別会計繰出事務	83	長寿介護課	8
03	02	01	11	03	04	放課後児童健全育成事業 【債務負担行為】	(限度額) 883,147	学校教育課	9
03	02	02	11	01	09	保育園運営事業	2,078	保育課	10
04	01	03	11	01	19	不妊治療費助成金事業	3,628	こども相談課	11
07	01	04	42	02	02	観光振興事業	3,445	産業振興課	12
08	02	02	62	02	02	道路維持管理事業	138,598	道路河川課	13
08	02	03	62	02	03	道路改良事業	207,626	道路河川課	17
08	04	02	62	02	06	都市計画道路整備事業【債務負担行為】	(限度額) 162	道路河川課	18
08	05	02	81	01	69	市営住宅維持管理事業	1,479	都市計画課	19
10	01	02	12	01	04	教育施策推進事業【債務負担行為】	(限度額) 20,454	学校教育課	20
10	01	05	11	01	20	幼稚園支援事業	1,800	保育課	21
10	05	02	12	02	08	地域学校活動推進事業【債務負担行為】	(限度額) 115,500	学校教育課	22
14	01	01	81	01	82	予備費	20,000	財政課	23

補正予算事業説明書

款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	06 財政管理費		
小 事 業 名			財政調整基金等積立事務						
施策の体系			効果的・効率的で安定した行財政運営						
			財政						
補正前予算額			今回補正額		補正後額		増加率		【拡充】
43,955 千円			1,061,000 千円		1,104,955 千円		2,413.8 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円		1,061,000 千円

補正予算の説明

1 事業名

財政調整基金積立金

2 概要

令和7年度決算に伴う繰越金額の確定により、決算剰余金の2分の1以上の金額を財政調整基金に積み立てます。

3 補正予算の必要性

年度間における財政調整及び将来の財政負担の軽減を図るため、地方財政法第7条の規定により、決算剰余金の2分の1以上の金額を積み立てる必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
積立金	財政調整基金積立金	1,061,000千円	拡充

5 その他(概要図等)

令和7年度一般会計実質収支

(単位;円)

区 分		金 額
1 歳入総額		36,467,398,077
2 歳出総額		34,007,137,699
3 歳入歳出差引額		2,460,260,378
4 翌年度へ繰越すべき財源	(1) 継続費通次繰越額	20,744,000
	(2) 繰越明許費繰越額	317,581,850
	(3) 事故繰越し繰越額	0
	計	338,325,850
5 実質収支額		2,121,934,528

1/2 → 1,060,967,264

↓

令和7年度決算に伴う財政調整基金積立金 1,061,000千円

作成課【企画部 財政課】	事務事業番号	730481
--------------	--------	--------

財政調整基金等積立事務におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	02 総務費	項	04 選挙費	目	70 みよし市議会議員一般選挙費
小 事 業 名	みよし市議会議員選挙事務				
施策の体系	その他(体系外)				
	その他				
補正前予算額		今回補正額		補正後額	増加率
0 千円		3 千円		3 千円	皆増
補正額の 財源 内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他				一般財源
	0 千円				3 千円

補正予算の説明

1 事業名

みよし市議会議員選挙事務(電子投開票実施支援業務委託)【債務負担行為】

2 概要

本市における選挙執行において、従来の紙の投票用紙を用いた方式から「設置型タブレット端末」を使用した電子投開票システムへ移行することにより、選挙人の投票環境の向上、民意の正確な反映及び開票事務の効率化を図ります。また、国(総務省)が推奨する行政手続きのデジタル化(行政DX)を推進し、持続可能な選挙事務体制を構築します。

3 補正予算の必要性

令和9年4月に実施予定のみよし市議会議員一般選挙において電子投開票システムの導入を予定しており、令和8年度中に入札等を実施して準備に取り掛かるため、9月補正予算において債務負担行為を設定する必要があります。

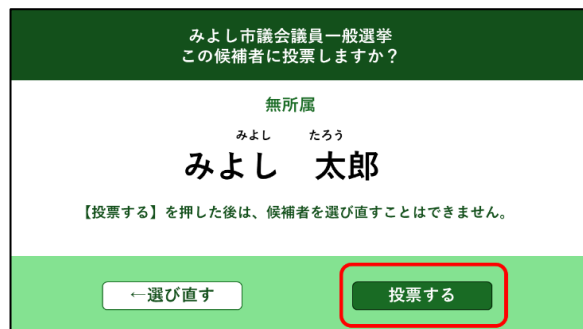
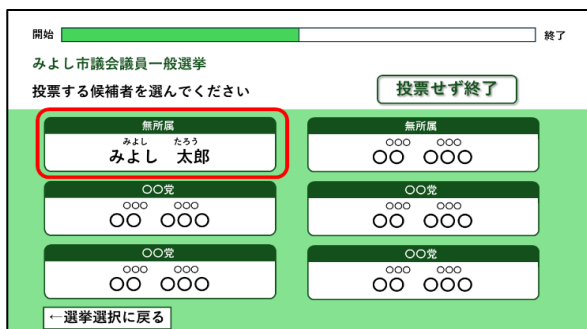
4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
委託料	【債務負担行為】電子投開票実施支援業務委託(令和9年度)	(15,310千円)	新規
使用料	美濃加茂市議会議員選挙視察に係る有料道路通行料	3千円	新規

5 その他(概要図等)

《電子投開票システム導入効果》

- ・投票機会の公平性確保
- ・開票会場の省スペース化(初年度は視察等対応のため現状どおり)
- ・意思表示の正確性と确实性の担保
- ・開票作業の迅速化と事務の効率化



電子投票画面イメージ

作成課【総務部 総務課】	事務事業番号	810146
--------------	--------	--------

みよし市議会議員選挙事務におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費	
小 事 業 名		障がい者福祉センター事業						
施策の体系		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう						
		障がい者福祉						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		
28,078 千円		580 千円		28,658 千円		2.1 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		580 千円

補正予算の説明

1 事業名

障がい者福祉センター天井裏修繕工事

2 概要

障がい者福祉センターリネン室の天井から水漏れが発生しているため、修繕を行います。

3 補正予算の必要性

リネン室天井裏のファンコイルに巻かれている保温材が結露によって水浸しになっており、天井からの水漏れが発生しています。ファンコイルの保温材を巻きなおし、早急に水漏れを解消するため、9月補正予算に計上する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
修繕費	障がい者福祉センター天井裏修繕工事	580千円	新規

5 その他(概要図等)



障がい者福祉センターリネン室天井

作成課【福祉部 福祉課】

事務事業番号

210407

障がい者福祉センター事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人福祉費		
小 事 業 名		介護保険特別会計繰出事務					
施策の体系		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう					
		介護					
補正前予算額		今回補正額	補正後額	増加率			
504,510 千円		83 千円	504,593 千円	0.0 %			
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	83 千円
補正予算の説明							
1 事業内容							
区 分		内 容			事業費	備 考	
繰出金		介護給付費繰出金			83千円		
2 補正予算の必要性							
介護保険特別会計における介護給付費の増額補正額に対して、市の負担額を繰り出す必要があります。							
作成課【福祉部 長寿介護課】				事務事業番号		210308	

介護保険特別会計繰出事務におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
小 事 業 名	放課後児童健全育成事業				
施策の体系	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう				
	地域で子育てを支える環境				
補正前予算額	今回補正額		補正後額		増加率
260,263 千円	0 千円		260,263 千円		0.0 %
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
				その他	一般財源
				0 千円	0 千円

補正予算の説明

1 事業名

放課後児童クラブ運営業務委託【債務負担行為】

2 概要

放課後児童クラブの運営業務全般を委託することで、指導員の確保や労務管理等について、的確かつ円滑な児童クラブの管理運営を図ることができるため、令和9年度以降も継続して委託業務を実施します。

3 補正予算の必要性

令和9年4月1日から業務を履行するためには、事前に人員を確保しておく必要があります。

また、令和9年度の児童クラブ入所募集を開始するに当たり、募集内容及び運営業者を確定するため、9月補正予算で債務負担行為を設定する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
委託料	【債務負担行為】放課後児童クラブ運営業務委託(令和9年度から令和11年度まで) 内訳) 令和9年度 283,480千円 令和10年度 292,474千円 令和11年度 307,193千円	(883,147千円)	

5 その他(概要図等)

○事業計画

	R8			R9					
	9月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
放課後児童クラブ・わくわくたいけんプログラム運営業務委託	9月補正	債務負担行為 (契約二候次審査決定)	プロポーザル	移行準備期間			委託	R12.3まで	

作成課【教育部 学校教育課】

事務事業番号

110304

放課後児童健全育成事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	02 保育所費	
小 事 業 名		保育園運営事業						
施策の体系		安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう						
		子育て支援						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【重点施策】
1,204,682 千円		2,078 千円		1,206,760 千円		0.2 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,000 千円		1,078 千円

補正予算の説明

1 事業名

総合福祉システム(保育システム)改修(公定価格等)業務委託

(1) 概要

公定価格等の改正に伴い、総合福祉システムを改修します。

(2) 補正予算の必要性

令和8年4月8日付けで施設型給付費に係る加算の要件等を定める「特定教育・保育等に要する費用の額の算定に関する基準等の実施上の留意事項について」(国通知)が改正され、現在使用している総合福祉システムを運用上できる限り早く改修するため、9月補正予算に計上する必要があります。

(3) 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
委託料	総合福祉システム(保育システム)改修(公定価格等)業務委託	1,078千円	新規

(4) その他(概要図等)

10月に打合せ・要件定義、12月にパッケージ製品の適用、1月に運用テスト、運用開始の予定です。

2 事業名

企業版ふるさと納税寄附金を活用した支援事業

(1) 概要

黒笹保育園を指定した企業版ふるさと納税の寄附がありました。当該寄附金を原資として、黒笹保育園へ支援金を交付します。

(2) 補正予算の必要性

黒笹保育園が当該支援金を活用し、遊具を購入する予定のため、9月補正予算に計上する必要があります。

(3) 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
交付金	企業版ふるさと納税寄附金を活用した支援金 [交付先]黒笹保育園	1,000千円	新規

作成課【こども未来部 保育課】

事務事業番号

110109

保育園運営事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	03 母子衛生費	
小 事 業 名		不妊治療費助成金事業						
施策の体系		安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう						
		子育て支援						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【拡充・重点施策】
11,842 千円		3,628 千円		15,470 千円		30.6 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	50 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		3,578 千円

補正予算の説明

1 事業名

不妊治療費助成金事業

2 概要

不妊に悩み治療を行っている、どちらか一方がみよし市に住所を有する夫婦に対し、不妊検査及び不妊治療に係る診療費の自己負担金の一部を助成し経済的な支援を行います。

3 補正予算の必要性

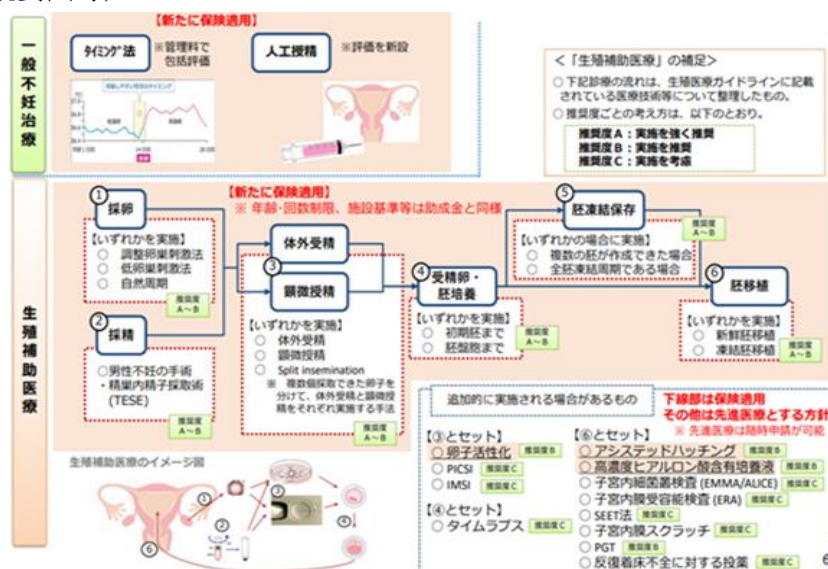
不妊治療費助成金事業の利用者数が当初予算より上回ることが見込まれるため、9月補正予算で追加計上する必要があります。

また、令和8年4月から保険適用の生殖補助医療と併用して実施した先進医療に係る費用を助成する市町村に対して県補助制度が開始されたため、当該補助金に係る歳入予算を計上します。

4 主な執行予定経費

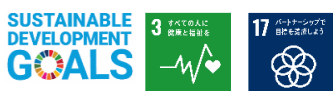
区 分	内 容	事業費	備 考
補助金	不妊治療費助成金 [交付先]個人	3,628千円	拡充

5 その他(概要図等)



作成課【こども未来部 こども相談課】	事務事業番号	110119
--------------------	--------	--------

不妊治療費助成金事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	07 商工費		項	01 商工費		目	04 観光費	
小 事 業 名		観光振興事業						
施策の体系		まちのにぎわいや魅力を生み出そう						
		観光・魅力発信						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		
116,202 千円		3,445 千円		119,647 千円		3.0 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円	3,445 千円

補正予算の説明

1 事業名

還暦花火事業

2 概要

全国一斉に行われる12月5日の「還暦花火」の趣旨に賛同し、令和8年度に還暦を迎える市民に対し、「感謝とエール」を伝える花火打上げ事業を実施します。

この事業を通して、郷土愛・シビックプライドの再発見、コミュニティの活性化及び市の魅力向上を促進します。

3 補正予算の必要性

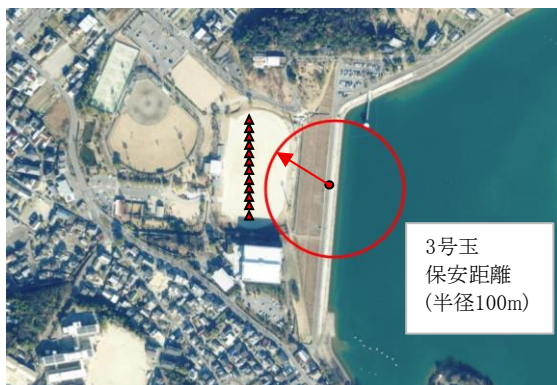
初回となる令和7年度の還暦花火は全国43か所で開催されました。令和8年度は全国100か所での開催を目指しており、全国一斉のムーブメントが起きています。

「全国一斉で100か所を目指す」という高い宣伝効果が得られる今年度のタイミングに、本市のシニア政策及びシティプロモーションを推進するため、9月補正予算で計上する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
補助金	みよし市観光協会補助金 [交付先]みよし市観光協会	3,445千円	
	還暦対象市民への案内用封筒印刷代	15千円	新規
	還暦対象市民への案内送付料	77千円	新規
	花火打上げ委託料	2,200千円	新規
	会場警備委託料	572千円	新規
	会場設営委託料	550千円	新規
	施設使用料(三好公園陸上競技場、電気等)	31千円	新規

5 その他(概要図等)



作成課【市民経済部 産業振興課】

事務事業番号

420202

観光振興事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		
小 事 業 名			道路維持管理事業						
施策の体系			便利で快適な住環境をつくろう						
			道路						
補正前予算額			今回補正額		補正後額		増加率		【拡充】
421,756 千円			138,598 千円		560,354 千円		32.9 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円		138,598 千円

補正予算の説明

1 事業名

橋梁修繕工事実施設計業務委託

(1) 概要

橋梁等については、5年に1回の近接目視による点検等を規定する道路法施行規則の一部を改正する省令が平成26年3月31日に公布され、平成26年7月1日から施行されました。

平成25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画及び今後の定期点検に基づき橋梁の修繕設計及び工事を計画的に行っています。橋梁長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づき、順次修繕設計及び工事を行うことで橋梁の長寿命化を図ります。

(2) 補正予算の必要性

令和7年度に行った橋梁点検の結果、無名橋38号において橋台部にひび割れと傾きがあることから、国土交通省や学識者が参加する診断結果評価会議において判定結果が『健全度Ⅲ(早期措置段階)』となりました。

『健全度Ⅲ(早期措置段階)』は次回の定期点検までに、橋の構造安全性の確保や第三者被害防止のための措置を行う必要があるため、早期に設計し、修繕する必要があります。

(3) 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
委託料	橋梁修繕工事実施設計業務委託	12,600千円	新規

(4) その他(概要図等)



2 事業名
側溝整備工事(半野木地区)

(1) 概要
老朽化した側溝及び舗装を改修することにより、排水不良の解消、道路への溢水防止及び安全な通行の確保を図ります。

(2) 補正予算の必要性
半野木地区では、三好下工業団地造成時に築造された既設側溝が劣化し、能力不足や機能低下に起因する排水不良によって大雨時には道路への溢水が生じています。

また、周辺土地利用の変化によって大型車両が増加したことで舗装の劣化が著しい区間も発生しています。劣化した側溝と舗装を改修することで、浸水対策と安全な通行の確保を図る必要があります。

(3) 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
工事請負費	側溝整備工事(半野木地区)	26,000千円	新規

(4) その他(概要図等)



3 事業名
舗装修繕工事(市道落合辰巳山線、市道三好明知下線、市道打越向山線)

(1) 概要
舗装劣化が著しい当該路線の舗装の修繕を行います。

(2) 補正予算の必要性

① 市道落合辰巳山線

当該路線は東名三好ICと市道三好ヶ丘駒場線をつなぐ市道で、大型車交通が多い路線であり、経年劣化等により舗装のわだち掘れやひび割れ、ひび割れからの出水が発生しています。

また、地下水位が高いこともあり大雨時に穴ぼこの発生が多く、職員の手による穴埋めを行っているものの、根本的な解決が図られていないため、当該路線のうち特に劣化が著しい一部区間において早急に舗装修繕を行い、路面状況に起因する事故を未然に防ぐ必要があります。

② 市道三好明知下線

当該路線は県道豊田知立線と県道宮上知立線をつなぐ一級市道で大型車交通が多い路線であり、経年劣化等により舗装のわだち掘れやひび割れが多数発生しています。

また、雨天時には穴ぼこの発生も多く、職員の手による穴埋めを行っているものの、根本的な解決が図られていないため、当該路線のうち特に劣化が著しい一部区間において早急に舗装修繕を行い、路面状況に起因する事故を未然に防ぐ必要があります。

③ 市道打越向山線

当該路線は県道和合豊田線と県道駕鴨みよし線をつなぐ市道で、大型車交通が多い路線であり、経年劣化等により舗装のわだち掘れやひび割れが多数発生しています。

また、日常的に穴ぼこの発生が多く、職員の手による穴埋めを行っているものの、根本的な解決が図られていないため、当該路線のうち特に劣化が著しい一部区間において早急に舗装修繕を行い、路面状況に起因する事故を未然に防ぐ必要があります。

(3) 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
工事請負費	舗装修繕工事(市道落合辰巳山線)	44,320千円	新規
	舗装修繕工事(市道三好明知下線)	37,478千円	新規
	舗装修繕工事(市道打越向山線)	18,200千円	新規

(4) その他(概要図等)

① 市道落合辰巳山線



② 市道三好明知下線



③ 市道打越向山線



作成課【都市建設部 道路河川課】

事務事業番号

620202

道路維持管理事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費	
小 事 業 名		道路改良事業						
施策の体系		便利で快適な住環境をつくろう						
		道路						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【拡充】
88,699 千円		207,626 千円		296,325 千円		234.1 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源	
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	207,626 千円	

補正予算の説明

1 事業名

道路改良事業(市道八和田線)

2 概要

市道中大通線と市道八和田下畷線の東西取り付け道路として計画された「市道八和田線」の道路整備を行います。

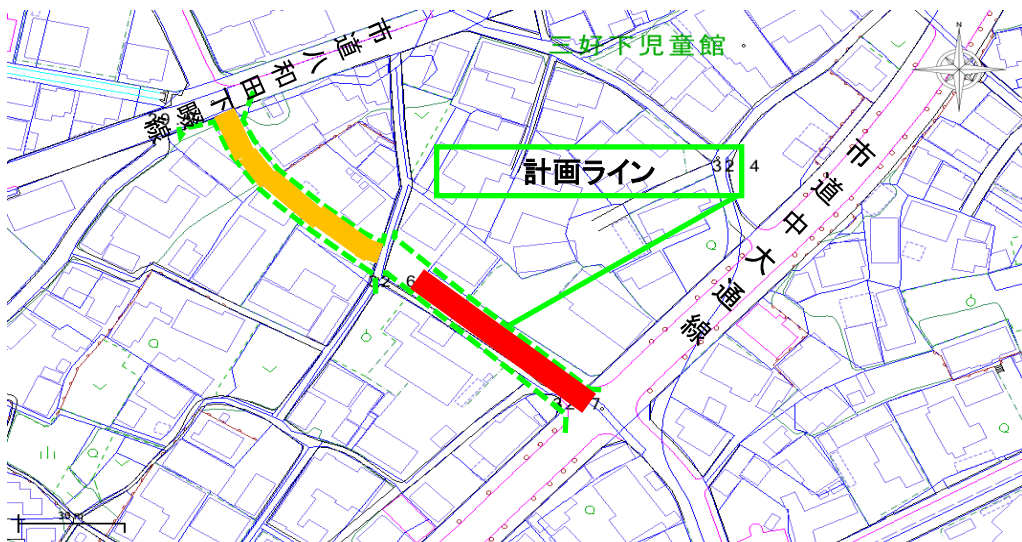
3 補正予算の必要性

行政区からの要望もあり、地権者の理解が得られる見込みのため、用地を買収し、早期整備を行う必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
消耗品費	印紙代	25千円	新規
委託料	分筆登記業務委託	343千円	新規
公有財産購入費	土地購入費	54,808千円	新規
補償費	物件移転補償費	152,450千円	新規

5 その他(概要図等)



今回取得用地 取得済用地

作成課【都市建設部 道路河川課】	事務事業番号	620203
------------------	--------	--------

道路改良事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	02 都市街路整備費		
小 事 業 名			都市計画道路整備事業						
施策の体系			便利で快適な住環境をつくろう						
			道路						
補正前予算額			今回補正額		補正後額		増加率		
24,922 千円			0 千円		24,922 千円		0.0 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円		0 千円

補正予算の説明

1 事業名

都市計画道路平池天王台線用地取得【債務負担行為の変更】

2 概要

都市計画道路平池天王台線の区域内にある道路用地を取得します。

3 補正予算の必要性

令和7年3月25日付けで、公有地の拡大の推進に関する法律第5条第1項の規定に基づく買取申出があり、都市計画道路平池天王台線の整備のため、道路用地を取得していく必要があります。なお、用地の取得に当たっては、みよし市土地開発公社による先行取得を行います。

見込んでいた時点修正の上昇率以上に地価が上昇したことにより生じた不足分を補うため、債務負担行為限度額を変更する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
公有財産購入費	【債務負担行為の変更】都市計画道路平池天王台線用地取得(令和7年度から令和11年度まで)	(162千円)	

5 その他(概要図等)



用地取得
都市計画道路平池天王台線整備に伴う用地取得
三好町天王83番の一部 162.14㎡ (宅地)



作成課【都市建設部 道路河川課】

事務事業番号

620206

都市計画道路整備事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	08 土木費		項	05 住宅費		目	02 住宅管理費	
小 事 業 名		市営住宅維持管理事業						
施策の体系		その他(体系外)						
		その他						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		
412,475 千円		1,479 千円		413,954 千円		0.4 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		1,479 千円

補正予算の説明

1 事業名

明知住宅大規模改修(2期)工事建築確認申請図書作成業務委託

2 概要

令和9年度から明知住宅B棟の大規模改修(2期)工事を行うに当たり、建築確認申請、構造計算適合性判定等の申請が必要となるため、申請に係る書類及び図面の作成業務を行います。

3 補正予算の必要性

B棟の大規模改修(2期)工事を令和9年9月から着工する予定であり、年度末までに建築確認申請を提出する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
手数料	建築確認申請手数料	141千円	新規
	構造計算適合性判定手数料	216千円	新規
	省エネ適合性判定手数料	132千円	新規
委託料	明知住宅大規模改修(2期)工事建築確認申請図書作成業務委託	990千円	新規

5 その他(概要図等)



改修後イメージ(A棟)



改修前現況(B棟)

作成課【都市建設部 都市計画課】

事務事業番号

810169

市営住宅維持管理事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 事務局費		
小 事 業 名			教育施策推進事業						
施策の体系			心豊かな子どもを育てよう						
			小中学校教育						
補正前予算額			今回補正額		補正後額		増加率		【重点施策】
9,683 千円			0 千円		9,683 千円		0.0 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円		0 千円

補正予算の説明

1 事業名

学校集金管理システム【債務負担行為】

2 概要

市内小中学校における口座振替集金は、学校指定の金融機関口座である必要があることから、入学時に普段使用していない金融機関の口座の開設を求められたり、給与口座等から振替口座への入金をしたりする必要があることが保護者の負担となっています。また、現金徴収も一部実施しており、教職員と児童生徒の現金取扱及び現金管理の手間・リスクが課題となっています。加えて、未納者への督促は担任の電話対応に頼る状況であり、教員の負担になっています。

そこで、支払方法の選択肢を拡大し保護者の利便性を向上させると同時に、学校における現金徴収を減らし、教職員と児童生徒の現金取扱いリスクを低減させること、未納者への督促に係る教職員の負担を軽減させることを目的に、学校集金管理システムを導入します。

3 補正予算の必要性

令和9年4月からシステムを運用開始するためには、令和8年度中に業者を選定し導入準備を進める必要があります。令和8年度中のテスト運用や学校教職員及び保護者の準備期間を考慮して、9月補正予算で債務負担行為を設定し、11月頃までに業者選定を行う必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
使用料	【債務負担行為】学校集金管理システム使用料(令和9年度から令和11年度まで) 内訳) 令和9年度 6,818千円 令和10年度 6,818千円 令和11年度 6,818千円	(20,454千円)	新規

作成課【教育部 学校教育課】

事務事業番号

120104

教育施策推進事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	05 教育支援費	
小 事 業 名		幼稚園支援事業						
施策の体系		安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう						
		子育て支援						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【重点施策】
563,361 千円		1,800 千円		565,161 千円		0.3 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源	
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,800 千円	

補正予算の説明

1 事業名

物価高騰対策支援事業

2 概要

継続的な物価高騰により経常的な支出が増加する中、幼稚園等が質の高い幼児教育を継続して提供できるよう教育材料費等に対して支援金を交付します。

3 補正予算の必要性

物価高騰による支出の増加に対して、市内の幼稚園等の経営を早急に支援するため、9月補正予算に計上する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
交付金	物価高騰対策支援金 [交付先]三好桃山幼稚園、東山幼稚園、ベル三好幼稚園、三好丘聖マーガレット幼稚園、まこと第二幼稚園、三好文化こども園	1,800千円	新規

5 その他(概要図等)

(1) 支給額

1園当たり 300,000円

(2) 支給対象

市内私立幼稚園(5園)・こども園(1園)

作成課【こども未来部 保育課】

事務事業番号

110120

幼稚園支援事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	02 青少年教育費	
小 事 業 名		地域学校活動推進事業						
施策の体系		心豊かな子どもを育てよう						
		青少年健全育成						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【重点施策】
49,446 千円		0 千円		49,446 千円		0.0 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円

補正予算の説明

1 事業名

わくわくたいけんプログラム運営業務委託【債務負担行為】

2 概要

わくわくたいけんプログラムの運営業務全般を委託することで、指導員の確保、労務管理等について、的確かつ円滑なプログラムの管理運営を図ることができるため、令和9年度以降も継続して委託業務を実施します。

3 補正予算の必要性

令和9年4月1日から業務を履行するためには、事前に人員を確保しておく必要があります。

また、令和9年度のわくわくたいけんプログラムの参加者募集を開始するに当たり、募集内容及び運営業者を確定するため、9月補正予算で債務負担行為を設定する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
委託料	【債務負担行為】わくわくたいけんプログラム運営業務委託(令和9年度から令和11年度まで) 内訳) 令和9年度 36,300千円 令和10年度 38,500千円 令和11年度 40,700千円	(115,500千円)	

5 その他(概要図等)

○事業計画

	R8			R9					
	9月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
放課後児童クラブ・わくわくたいけんプログラム運営業務委託	9月補正	債務負担行為 (契約二次審査決定)	プロポーザル	移行準備期間			委託	R12.3まで	

作成課【教育部 学校教育課】

事務事業番号

120208

地域学校活動推進事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	14 予備費		項	01 予備費		目	01 予備費	
小 事 業 名		予備費						
施策の体系		その他(体系外)						
		その他						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		【拡充】
30,000 千円		20,000 千円		50,000 千円		66.7 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円	20,000 千円

補正予算の説明

1 事業名

熊本県益城町及び八代市への災害支援

2 概要

令和8年7月28日に熊本県を震源とする地震が発生し、熊本県内の多くの市町村に甚大な被害が発生しました。

この度の被害を受けて、本市と協定を締結している益城町及び甚大な被害が発生した八代市へふるさと納税の代理受付を通じて寄附を募り、各市町へ寄附金を送金するとともに、職員の派遣や支援物資の送付を行います。

3 補正予算の必要性

熊本県益城町及び八代市への支援を迅速に行うため、9月補正予算に計上する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
予備費	災害支援寄附金(代理受領分)	15,000千円	新規
	職員派遣旅費等	1,400千円	新規
	物資支援・ボランティア支援	3,600千円	新規

5 その他(概要図等)

《職員派遣》

トイレトレーラー設置業務、被害状況調査及びり災証明発行業務、災害ごみ受入業務

《物資支援》

飲料水、簡易トイレ、おむつ、粉ミルク、ブルーシート、エアーマット、汗拭きシート等

《ボランティア支援》

被災地でボランティア活動を行う市民等を応援するため、被災地ボランティア活動事業補助金を交付

(1) 補助対象者:① 市民

② 構成員の半数以上が市民を含む団体に属する市内在学・在勤の人

(2) 補助金額:1人当たり最大40,000円(宿泊費及び交通費の合計) ※同じ災害につき、1人1回まで

作成課【企画部 財政課】

事務事業番号

810182

予備費におけるSDGsの取組



2 国民健康保険特別会計

令和 8 年度 9 月補正予算 事業別一覧

会計 0 2 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

款	項	目	大	中	小	事業名	予算額	所属	ページ
05	01	01	22	01	85	国民健康保険事業基金積立事務 (国民健康保険特別会計)	94,100	保険健康課	26

補正予算事業説明書

款	05 積立金		項	01 基金積立金		目	01 基金積立金		
小 事 業 名			国民健康保険事業基金積立事務(国民健康保険特別会計)						
施策の体系			生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう						
			地域医療						
補正前予算額			今回補正額		補正後額		増加率		【拡充・重点施策】
414 千円			94,100 千円		94,514 千円		22,729.5 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債		使用料・手数料	分担金・負担金	その他		一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	0 千円	0 千円		94,100 千円

補正予算の説明

1 事業名

国民健康保険事業基金積立事務

2 概要

令和7年度決算剰余金の2分の1を積み立てます。

3 補正予算の必要性

地方財政法第7条の規定により、決算剰余金の2分の1以上の金額を積み立てる必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
積立金	国民健康保険事業基金積立金	94,100千円	拡充

5 その他(概要図等)

令和7年度決算剰余金

歳入決算額	4,485,938,541円
歳出決算額	4,297,799,987円
収 支	188,138,554円

←令和7年度決算剰余金

国民健康保険事業基金

項 目	金 額	備 考
① 令和7年度末現在残高	170,563,556円	国民健康保険事業基金積立金
② 積立	414,000円	基金利子(当初予算)
③ 基金取り崩し	△170,000,000円	国民健康保険事業基金繰入金(当初予算)
④ 9月補正額	94,100,000円	令和7年度決算剰余金の2分の1以上
9月補正後基金残高 (①+②+③+④)	95,077,556円	

作成課【福祉部 保険健康課】

事務事業番号

220185

国民健康保険事業基金積立事務(国民健康保険特別会計)におけるSDGsの取組



3 介護保険特別会計

令和 8 年度 9 月補正予算 事業別一覧

会計 06 介護保険特別会計

(単位：千円)

款	項	目	大	中	小	事業名	予算額	所属	ページ
02	02	01	21	03	23	地域密着型介護予防サービス給付事業	664	長寿介護課	29
05	01	01	21	03	82	介護給付費準備基金積立事務	52,276	長寿介護課	30
06	01	03	21	03	85	返還事務(介護保険特別会計)	427	長寿介護課	31
06	02	01	21	03	86	一般会計繰出事務(介護保険特別会計)	2,212	長寿介護課	32

補正予算事業説明書

款	02 保険給付費	項	02 介護予防サービス等諸費	目	01 介護予防サービス等給付費
---	----------	---	----------------	---	-----------------

小 事 業 名	地域密着型介護予防サービス給付事業
----------------	--------------------------

施策の体系	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう
	介護

補正前予算額	今回補正額	補正後額	増加率	【拡充】
404 千円	664 千円	1,068 千円	164.4 %	

補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	664 千円

補正予算の説明

1 事業名
地域密着型介護予防サービス給付事業

2 概要
要支援認定者が地域密着型介護予防サービスを利用した際に、被保険者自己負担(1割～3割)以外の利用料(9割～7割)を給付します。

3 補正予算の必要性
当初の見込みよりも利用件数が増加し、予算額が不足するため、9月補正予算で追加計上する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
負担金	地域密着型介護予防サービス給付費 [交付先]愛知県国民健康保険団体連合会	664千円	拡充

作成課【福祉部 長寿介護課】	事務事業番号	210323
----------------	--------	--------

地域密着型介護予防サービス給付事業におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	05 基金積立金	項	01 基金積立金	目	01 介護給付費準備基金積立金										
小 事 業 名		介護給付費準備基金積立事務													
施策の体系		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう													
		介護													
補正前予算額		今回補正額	補正後額	増加率	【拡充】										
2,446 千円		52,276 千円	54,722 千円	2,137.2 %											
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源								
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	52,276 千円								
補正予算の説明															
1 事業名 介護給付費準備基金積立事務 2 概要 介護給付費等の確定に伴い、国、県及び社会保険診療報酬支払基金から過年度分として追加交付される負担金及び交付金を基金に積み立てます。 3 補正予算の必要性 令和7年度介護給付費等の確定に伴い、国、県及び社会保険診療報酬支払基金から過年度分として令和8年度に追加交付される負担金及び交付金について、基金に積み立てる必要があります。 4 主な執行予定経費 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>介護給付費準備基金積立金</td> <td>52,276千円</td> <td>新規</td> </tr> </table>								区 分	内 容	事業費	備 考	積立金	介護給付費準備基金積立金	52,276千円	新規
区 分	内 容	事業費	備 考												
積立金	介護給付費準備基金積立金	52,276千円	新規												
作成課【福祉部 長寿介護課】				事務事業番号		210382									
介護給付費準備基金積立事務におけるSDGsの取組 															

補正予算事業説明書

款	06 諸支出金	項	01 償還金及び還付加算金	目	03 償還金															
小 事 業 名		返還事務(介護保険特別会計)																		
施策の体系		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう																		
		介護																		
補正前予算額		今回補正額	補正後額	増加率	【拡充】															
1 千円		427 千円	428 千円	42,700.0 %																
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源													
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	427 千円													
補正予算の説明																				
1 事業名 返還事務 2 概要 介護保険法の規定により、国庫負担金及び県費負担金の超過分を返還します。 3 補正予算の必要性 令和7年度介護給付費等の確定に伴い、国庫負担金及び県費負担金の超過分を返還する必要があります。 4 主な執行予定経費 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>償還金</td> <td>低所得者保険料軽減負担金</td> <td>427千円</td> <td>拡充</td> </tr> </table> 5 その他(概要図等) 《返還金額》 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">低所得者保険料軽減負担金</td> <td>国庫負担金</td> <td>284,718円</td> </tr> <tr> <td>県費負担金</td> <td>142,359円</td> </tr> </table>								区 分	内 容	事業費	備 考	償還金	低所得者保険料軽減負担金	427千円	拡充	低所得者保険料軽減負担金	国庫負担金	284,718円	県費負担金	142,359円
区 分	内 容	事業費	備 考																	
償還金	低所得者保険料軽減負担金	427千円	拡充																	
低所得者保険料軽減負担金	国庫負担金	284,718円																		
	県費負担金	142,359円																		
作成課【福祉部 長寿介護課】				事務事業番号		210385														

返還事務(介護保険特別会計)におけるSDGsの取組



補正予算事業説明書

款	06 諸支出金		項	02 繰出金		目	01 一般会計繰出金	
小 事 業 名		一般会計繰出事務(介護保険特別会計)						
施策の体系		豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう						
		介護						
補正前予算額		今回補正額		補正後額		増加率		
34,066 千円		2,212 千円		36,278 千円		6.5 %		
補正額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	使用料・手数料	分担金・負担金	その他	一般財源	
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,212 千円	

補正予算の説明

1 事業名

一般会計繰出事務

2 概要

介護保険法の規定により、市繰入金の超過分を返還します。

3 補正予算の必要性

令和7年度介護給付費、地域支援事業費及び低所得者保険料軽減負担金の確定に伴い、市から繰り入れされた負担金の超過分を返還する必要があります。

4 主な執行予定経費

区 分	内 容	事業費	備 考
繰出金	介護給付費返還金	1,500千円	
	地域支援事業費返還金	570千円	
	低所得者保険料軽減負担金返還金	142千円	新規

5 その他(概要図等)

《市の負担割合》

介護給付費	要介護認定者の在宅サービス、施設サービス等に係る費用	12.50 %
地域支援事業費	要支援又は認定を受けていない人が利用する訪問型サービスと通所型サービスに係る費用及び介護予防の取組に係る費用	12.50 %
	配食サービス、成年後見制度利用支援、介護相談員派遣、認知症総合支援事業等に係る費用	19.25 %
低所得者保険料軽減負担金	所得の少ない高齢者の介護保険料引下げに係る費用	25.00 %

作成課【福祉部 長寿介護課】

事務事業番号

210386

一般会計繰出事務(介護保険特別会計)におけるSDGsの取組

